



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ

49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度

No. 25 / Total 2321

例会：2012年3月9日

発行：2012年3月16日

RI会長 カルヤン・バネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員
広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会 齋藤 豊久

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会 三橋 美子

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会 伊藤 正人

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 撰子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊

副委員長 齋藤 麻美子

委員 石井 美香子

委員 渡邊 ヒロ子

◆3月16日(金)のプログラム

会員卓話 ・浅野玄航君

◆今後の3月のプログラム

23日(金) ゲスト卓話

・除村 喜久雄様

・林 恒雄様

※当日検査希望の 検体が有ればお持ち下さい

食品 土壌 野菜 分量は150g以上

ミルク 水も150g以上

30日(金) 休会

●会長挨拶 関正己会長

こんにちは。

今週、日曜日早朝6:30分より寒い中官軍塚に集結いただきました、会員の皆さん、大変ご苦労さまでした。

官軍塚～八幡岬公園迄、今年もこのウォーキングコースの清掃を行ったわけですが、残念ながら桜の花が今年この寒さでほんの僅かしか咲いておりませんでした。

お天気の方も今にも雨が降りそうな曇り空、晴天ですと八幡岬公園の椅子に座り、早朝の日差しを浴びながら、勝浦から大海原を見ながらの朝食のお弁当と楽しく充実感を伴ったひと時を共有するのですが今年は残念でした。

ごみの量も年々少なくなって良い傾向にはありますが、会員の皆さん全員が一体感を持って活動するには少し力余る事業かなと反省しています。私だけかもしれませんが。

毎年、参加者は15～16名とほとんど決まってしまうのです。

が、ちょうど良い人数なんです。執行部には申し訳ありませんが、この他にもっと全員が、少なくとも元気な会員がみんなで参加できるプロジェクトを開発するのも一つかな、とも思いました。あくまで個人的な感想です。

話題は変わり、先日のポスターの評判はいかがですか？まだまだ沢山あります。

有効に活用し、会員増強に力を注いで頂けるようお願いいたします。今年度の長期計画目標は43名です。

まだ4か月あります。

他人事と思わず全員が最後まであきらめず、責任感を持って頑張ってください。

●幹事報告 幹事代理 中村満君

1. 鴨川RCより

本年4月開校の「亀田医療大学」の開学セレモニー案内が届きました。お手元に配布してあります。

2. 千倉RCより

例会変更のお知らせ

3/30(金) 移動例会を中止、12:30より魚拓荘鈴木屋にて通常例会

4/6(火) 移動例会 4/27(金) 地区協議会に振替、休会

●委員会報告

◆会員増強委員長 村石愛二君

2回目の会員増強委員会を来週の例会終了後、できたらやりたいと思っております。

ぼちぼちスピードアップしていかないと、会長が「せっかく立派なポスターを作ったのに委員会は何やってるんだ」と多分言っているでしょう。

●ニコニコBOX

○自主申告

◆村石愛二君

まずひとつめに、日曜日の空き缶拾いをころっと忘れてまして、お弁当を無駄にしてすみませんでした。

それから会員増強ですが、委員だけじゃなくて、ぜひ皆さん全会員にご協力をお願いしたいと思います。それと今配布させていただきました。

これは来週の金曜日に新聞折り込みするのですが「しもさうみちゃん」というマスコットキャラクターが誕生しまして、あともう1点、「カムカムドリンク」というのをお配りしました。これは東京農業大学の学生ネイチャービジネスで、「農大市場」というウェブショップがあります。そこでうちの卵も売ってもらうのですが、農大おすすめ商品をうちでも販売させていただくという業務締結をしました。

「カムカム」という植物は、ビタミンCの王様です。食べ物、唯一欠けてる栄養素はビタミンCです。アセロラよりもはるかにビタミンC濃度が高くて、レモンなんか全く問題外なくらいです。



そして一番大事なのは、国際貢献なのです。南米のアマゾン川流域のペルー、ここは麻薬の栽培地帯です。

その麻薬の栽培から農民を解放して、カムカムを育ててもらおうということをやっている東京農大がやっています。ぜひ、今日お飲みいただきまして、来週土曜日から売り出しをやっていますので、大勢の方、お誘い合わせの上おいでいただきたいと思います。

◆関一憲君

IMの記録委員長をやっています、今報告書を作成中でございます。先ほど、大家ファストガバナーと最終構成を確認できましたので、早速報告書印刷にまわるのですけれども、そこで皆さんによろしくというお言葉をいただきましたので、この場を借りてご報告させていただきます。

それから、私事なのですが今年の10月に「車の未来プロジェクト」というものを立ち上げて皆さんにご報告を少ししたと思うのですけれども、車屋さんをみんな元気にといいことと、若者が夢を持てるような車屋業界になればいいなと思っているところで、東京の両国、KFCホールという所で千葉・東京・神奈川の車屋さん限定30社で、5回シリーズで研修会をやっています。

やっと第1期生が終わりまして、教えると言うより一緒に学ぶと言いますか、まあ講師としてやったのですが、やってみて改めて思ったのが、そういう風に教えている立場の私の方がたくさん教えられることがあるなと感じました。

◆西川佳璋君

先週に引き続きすみません。お手元の週報2ページに先週の記事が載っています。お雛様、6:30~8:00の1時間半のテレビ朝日の番組でございまして、1時間半まるまる、朝市と朝市の中に石井食堂というのがありますが、坦々麺が大変美味しいということで、それからお雛様という形で、1時間半ほとんどが私の家の前の通りが集中的に放映されました。

1時間半、たっぷり勝浦をPRしていただいて、大変感謝しております。

1時間半の番組を勝浦市で放送しようとする莫大な金額がかかりますが、1時間半支えてくださったスポンサーの方々に厚く御礼申し上げます。

●報告

◆池田哲也君

鴨川ロータリークラブから来た亀田医療大学の開学セレモニーですね。

これ料金などよくわかりませんが、Bay FMなんかたまに流れているトワ・エ・モワの片割れの白鳥英美子さんが開校の何か歌っています。

先行き、鴨川などで合同例会もやりますからもしご都合のつく方は参加してください。

●卓話

◆プログラム委員長 高梨薫敏君

勝浦海上保安署次長の湊光様に来て頂きました。

勝浦に海上保安署はずいぶん古くからありますが、一般の市民の方にはあまり馴染みがないと思いますけども、最近ドラマの「海猿」などで多少は知られるようになったと思います。

尖閣諸島や、北方領土の方では大変危険な業務に就かれている海上保安署の方々ですが、本日はそのような仕事の内容を、DVDを使ってご紹介したいということで来て頂きました。よろしくお願ひ致します。



◆みなとひかり様

勝浦海上保安署次長の湊光です。お招きいただきましてありがとうございます。

高梨先生には、海上保安庁の方で日本歯科医師会との提携をしております海上保安歯科医というところで、例えば身元不明のご遺体などがあった場合の個人識別にご協力いただくということで海上保安歯科医の方を委嘱させていただいております。

そういった関係と、先生の人力で今日お招きに預かった次第でございます。

皆さんは、陸上で生活されている方がほとんどかと思えますので、海上保安庁の仕事というのは具体的にどうしているのかというのはあまりご存知ない方が多いと思いますが、海上保安庁の職業概要について今日はお説明したいと思います。

ご存知の方もいると思いますが、海上保安庁は国土交通省に属しております。

一般的に知られている業務としましては、海上の治安維持、それから先ほど高梨先生もおっしゃってありました「海猿」に関するような、海難救助。また去年の震災関係の環境防災などの仕事です。

それから、海の地図、「海図」を作成しております。

今、勝浦にある保安署というのは総勢で14名おりました、巡視船が1隻、パンフレットの中にもありますけれども、「にほんかぜ」という船と同じ型で、勝浦の「勝」の字をとりまして「勝風」という船が1隻あります。この船の乗組員が10名おりました、5名ずつのチームで、365日休みなく海難救助、また事件などが起きた時に捜査にあたるなど、そういう対応となっております。

勝浦の海上保安署の業務の中で一番多いのは、夏場の海浜事故対応です。

去年は、震災の影響で観光客が大きく減少したとうかがっておりますが、それでも海水浴にいらっしゃる方ですとか、釣りにいらした方の海難事故というのはやはり多発しております、その海難救助の対応が、昨夏も結構な数がありました。

残念ながら亡くなってしまわれる方も結構いらっしゃいました。

そういう方を、1名でも多く救助するという事で勝浦海上保安庁はそういった活動をしております。それと、勝浦は漁業資源が豊富な街ですので、その漁業資源を狙った密漁者というのも結構おまして、昨年も、GWで少し暖かくなった頃くらいから密漁者が結構出ておましてその取り締まりにも主眼を置いてやっております。

一人でも結構、アワビ、サザエ、トコブシなど、冬場にかけては伊勢エビなんかも頻発しておまして、密漁者自体の検挙というのも結構な数が上がっております。

これは、一律とは言いませんが千葉県漁業海面規則というものがありまして、それに違反することになります。また漁業法の中に定める漁業権の侵害に該当するという事で、だいたい1回捕まると10万円くらいの罰金がとられるようになっております。アワビを10個捕っても10万円、伊勢エビを1個捕っても10万円、初犯でもだいたいそれくらいとられるようになっております。

それを考えると買った方が安いのですけれども、皆さん採るのが楽しい、面白いということで、依然として密漁者が後を絶たない、というような現状です。また今年も暖かくなってくると出てくると思いますので、そのあたりの取り締まりは機会を見てやっていきたいと思っております。

皆さんは、118番というのをご存知でしょうか。

海の緊急電話なのですが、ご存知でない方もやはりいらっしゃいますよね。陸上の緊急電話が110番というのは、子どもの頃からの常識となっていますが、海上保安庁の緊急電話というのもございまして、これは「海の“もしも”は118番」という、立ち上がった時からのキャッチフレーズもあります。

海上で何か起きた時に、海上保安庁へ通報するのが118番ということです。

DVDで見ていただいたものが、海上保安庁の業務の概要で、それぞれの部署、全国の海上保安庁で同じような仕事をしております。勝浦海上保安署も同じくこのような業務をしております。

◆Q◆

大震災の時には、勝浦海上保安署の方達はどのような任務をやったのですか。

◆A◆

震災時すぐには、郊外の方々へ非難を呼び掛けまして、すぐ津波というのは来ていないのですが、みんな物珍しかったのか漁港に結構人が集まってきていまして、まだ警報が出っぱなしの時でしたので「高台に避難してください」と呼びかけながら、郊外も津波の被害を受ける可能性がありましたので、すぐに沖に待避して沖の方で情報提供と被害状況調査というのを実施しておりました。

◆Q◆

勝浦の管轄というのはどこからどこまでですか。

◆A◆

これは少しややこしいのですが、北は一宮町といすみ市の境界から、南は陸上でいうと鴨川市までなのですが、海上は野島崎というところまで真南に線を引いたところで20マイル沖くらいまでですのでだいたい40km弱くらいと、一宮から東に引いて20マイル、いわゆる40km弱くらいを沿岸に沿って引いた線の海域が勝浦の海上保安署の責務する領域となっております。これは、大きさを言いますと東京湾がすっぽり入るくらいの大きさです。

出席報告 3月9日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	25名	4名	8名	78.38%

欠席：浅野玄航、内田秀実、小林悠基、林重利、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男